

ごみの減量を考える 市民アンケート

本市では、将来にわたり安定した社会経済生活を営むため、地球の限りある資源を大切に使い、できる限り循環利用、有効活用を図り、環境への負荷を低減する“循環型社会”の形成を目指して取り組んでいます。

その中でも、家庭から出るごみが全体の排出量の多くを占めている状況が続いており、そのごみの減量を着実に進めていくために、市民のみなさんのごみの減量に対する意識と状況について教えてください。

◆◇ アンケート回答にあたってのお願い ◇◇

●回答は、次のいずれかの方法をお願いします。

令和6年4月25日（木曜日）までに、ご回答ください。

① 郵 送 に よ る 回 答 : 直接記入し、返信用封筒（切手不要・名前の記入不要）に入れて、ご返送ください。

② インターネットによる回答 : パソコン、タブレット、スマートフォンで、
下記のURL、または右記の二次元コードより回答ページにアクセスし、ご回答ください。

◆URL（ホームページアドレス） <https://logoform.jp/form/tTN6/532455>



③ F A X に よ る 回 答 : FAX番号 072-744-1221

●回答は、当てはまる数字（番号）を選んで、その数字を○印で囲んでください。

●アンケートに関するお問い合わせは、下記までお願いします。

川西市 美化衛生部 美化推進課

住所 〒666-0152 川西市丸山台3丁目43番地

電話 072-744-1124（直通）

問1 あなたは、「ごみの減量の必要性について」、どの程度身近に感じていますか。（○はひとつ）

1. 非常に身近に感じている
2. どちらかといえば身近に感じている
3. どちらかといえば身近には感じていない
4. まったく身近には感じていない

問2 本市は、令和4（2022）年8月に2050年までに「二酸化炭素の実質排出量ゼロ」を目指しゼロカーボンシティを宣言しました。ごみ処理の分野においては、家庭から出されたごみの焼却で発生する温室効果ガスだけでなく、ごみ処分場への収集運搬にも多くのエネルギーが使われ、地球温暖化に悪影響を及ぼす問題が潜んでいます。

あなたは、この「二酸化炭素の実質排出量ゼロ」について関心がありますか。（○はひとつ）

- | | | | |
|-------|---------|----------|-----------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|-------|---------|----------|-----------|

問3 令和6（2024）年3月に策定した「川西市一般廃棄物処理基本計画」では、スローガンとして『ごみにする？資源にする？それは結局あなた次第～今日から1人1日マイナス91g～』を掲げています。あなたは今のごみの排出量から減らすことについて取り組んでいますか？
(○はひとつ)

1. はい → **問3-(1)**へ

2. いいえ → **問3-(2)**へ

問3-(1) 問3で、1.の「はい」と回答された人にお聞きします。ごみを減らすことについて、工夫していることを教えてください。
(○はいくつでも可)

1. 食品の買いすぎや食べ残しを減らす
2. 生ごみは水気を切ってから出す
3. 生ごみをたい肥化する
4. 詰め替え品の購入を心がける
5. フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを活用する
6. 古紙やびん、缶、ペットボトルなどを分別してリサイクルに回す
7. 玩具や子供服などを知人に譲る
8. その他

→ **問4**へ

問3-(2) 問3で、2.の「いいえ」と回答された人にお聞きします。
あなたはごみを減らすことについて、これから取り組むことはできますか？

(○はひとつ)

1. 取り組むことができる → **問3-(3)**へ

2. 取り組むことができない → **問3-(4)**へ

問3-(3) 問3-(2)で、1.の「取り組むことができる」と回答された人にお聞きします。
ごみを減らすことについて、できそうなことを教えてください。
(○はいくつでも可)

1. 食品の買いすぎや食べ残しを減らす
2. 生ごみは水気を切ってから出す
3. 生ごみをたい肥化する
4. 詰め替え品の購入を心がける
5. フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを活用する
6. 古紙やびん、缶、ペットボトルなどを分別してリサイクルに回す
7. 玩具や子供服などを知人に譲る
8. その他

→ **問4**へ

問3-(4) 問3-(2)で、2.の「取り組むことができない」と回答された人にお聞きします。
ごみを減らす取り組みができない理由を教えてください。(〇はいくつでも可)

1. 時間的な余裕がない
2. ごみを減らす方法が分からない
3. ごみを減らす必要性を感じない
4. 減量は手間がかかる
5. 減量しても自分にメリットがない
6. 家族など周囲が協力してくれない
7. その他

(

)

問4 あなたは、燃やすごみの中に下記の①～⑤のようなリサイクルできるものを捨てることがありますか？

※燃やすごみとは：可燃性で一边40cm未満のもの（リサイクルに適さない物を含む）

(〇はひとつ)

1. ある 2. ない 3. わからない（意識したことがない）

- ① プラマーク  の付いているお菓子の袋や菓のプラケースなどの容器や包装
- ② 新聞紙や雑誌、裁断した紙くず、お菓子の箱などの紙類 
- ③ ペットボトルの識別表示マーク  の付いているボトル
- ④ 牛乳などの紙パックなど
- ⑤ 衣類、タオル・シーツ・カーテンなどの布類

問5 ごみの排出方法や市の収集に関して困っていることはありますか？

(〇はひとつ)

1. ある → **問5-(1)**へ 2. ない → **問6**へ 3. わからない → **問6**へ

問5-(1) 問5で、1.の「ある」と回答された人にお聞きします。

ごみの排出方法や市の収集について一番困っていることはどれですか？(〇はひとつ)

1. ごみ当番ができない（ごみステーションの管理が難しい）
2. ごみステーションまでごみを捨てに行くのが大変
3. 分別方法が分かりにくい
4. 回収日が分かりにくい
5. ごみステーションがカラスなどにあらされる
6. 当日朝8時30分までにごみ捨てができない
7. その他

(上記以外に困っていることがあればご記入ください)

問6 あなたご自身のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

※今後のごみの減量や市民サービスについての課題を明らかにしていくうえで、性別・年代別比較などは、非常に重要です。そのため、お聞きます。

A. あなたの性別をお聞きます。(○はひとつ)

※3は、自認する性または回答しない、わからないなどを記入してください。

1. 女性 2. 男性 3. ()

B. あなたの年代をお聞きします。〔満年齢（※令和6（2024）年4月1日現在）〕。 （○はひとつ）

1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上

C. あなたの家は、何人住まいですか？ (〇はひとつ)

1. 1人	2. 2人	3. 3人
4. 4人	5. 5人	6. 6人以上

D. あなたが利用しているごみステーションの管理は、ごみ当番制ですか？ (○はひとつ)

1. はい 2. いいえ 3. わからない

問 7 最後に、ごみの減量に向けてご意見やご要望があればご自由にお書きください。

[illegible]

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

4月25日（木曜日）（消印有効）までにご返送をお願いします。

FAXでのご回答もお受けいたします。

※インターネット・FAXで回答された方は、紙でのご返送はいりません。

